令和８年度

霧島市食育推進検討委員会

資料

日時：令和８年９月 24 日（木）14 時 00 分～
場所：霧島市総合センター１階 集団検診室

- 健康きりしま 21（第４次）計画
  【健康づくり分野】
  栄養・食生活改善と食育推進（食育推進計画）について

- 健康きりしま 21（第５次）計画に係るアンケート内容について



霧島市食育推進キャラクター
酢がめちゃん

霧島市保健福祉部健康増進課

霧島市健康・生きがいづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱

（趣旨）

第１条　市民の健康・生きがいづくり、地域医療及び保健事業等を効果的かつ効率的に推進するため、専門的な事項を審議する各種委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

（委員会）

第２条　市民の健康・生きがいづくり、地域医療及び保健事業等に関する専門的な事項を審議するため、自殺対策検討委員会、食育推進検討委員会、母子保健検討委員会、歯科保健専門委員会、予防接種専門委員会及び成人保健専門委員会を置く。

（所掌事務）

第３条　各委員会は、次に掲げる事項について審議する。

（１）　自殺対策検討委員会

ア　健康増進計画の推進に関する事項

イ　自殺予防対策の推進に関する事項

ウ　その他市長が必要と認める事項

（２）　食育推進検討委員会

ア　健康増進計画の推進に関する事項

イ　食育の推進に関する事項

ウ　その他市長が必要と認める事項

（３）　母子保健検討委員会

ア　健康増進計画の推進に関する事項

イ　母子保健の推進に関する事項

ウ　その他市長が必要と認める事項

（４）　歯科保健専門委員会

ア　健康増進計画の推進に関する事項

イ　歯科保健の推進に関する事項

ウ　歯科健診等の実施に関する事項

エ　その他市長が必要と認める事項

（５）　予防接種専門委員会

ア　健康増進計画の推進に関する事項

イ　予防接種の推進に関する事項

ウ　予防接種の実施に関する事項

エ　その他市長が必要と認める事項

（６）　成人保健専門委員会

ア　健康増進計画の推進に関する事項

イ　成人保健の推進に関する事項

ウ　その他市長が必要と認める事項

（組織）
第４条　各委員会は、委員15人以内で組織する。
２　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。
（１）　保健又は医療関係団体の代表
（２）　福祉関係団体の代表
（３）　教育関係団体の代表
（４）　地区組織の代表
（５）　各種健康づくり推進団体の代表
（６）　農業関係団体の代表
（７）　企業の代表
（８）　その他市長が必要と認める者
（任期）
第５条　前条の委員の任期は、２年とする。
２　委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。
（委員長及び副委員長）
第６条　各委員会に委員長及び副委員長１人を置く。
２　委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
３　委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。
（会議）
第７条　委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。
２　会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
３　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
（庶務）
第８条　委員会の庶務は、保健福祉部健康増進課において処理する。
（その他）
第９条　この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。
附　則
（施行期日）
１　この告示は、平成21年４月１日から施行する。
（霧島市救急医療検討委員会設置要綱及び霧島市健康増進計画等策定協議会設置要綱の廃止）
２　次に掲げる告示は、廃止する。
（１）　霧島市救急医療検討委員会設置要綱（平成18年霧島市告示第107号）
（２）　霧島市健康増進計画等策定協議会設置要綱（平成18年霧島市告示第219号）
附　則（平成21年７月27日告示第196号）
この告示は、平成21年７月27日から施行する。
附　則（令和４年２月17日告示第33号）
この告示は、令和４年４月１日から施行する。

霧島市附属機関等の会議の公開に関する指針

第１　目的

この指針は、霧島市情報公開条例（平成17年霧島市条例第10号）第23条の規定に基づき、附属機関等の会議を公開することにより、市民の市政への理解及び信頼を深め、もって公正で開かれた市政を一層推進するため、市が設置する附属機関等の会議の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

第２　対象とする附属機関等

この指針の対象とする「附属機関等」とは、霧島市附属機関等の設置等に関する方針（平成18年霧島市訓令第３－２号）第２条に規定する附属機関及びその他の委員会等とする。

第３　公開の基準

１　附属機関等の会議（以下「会議」という。）は原則公開するものとする。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。

⑴　会議の公開が、法令又は条例（以下「法令等」という。）により制限されているとき。

⑵　霧島市情報公開条例第５条に規定する不開示情報を含む案件について、審議等を行うとき。

⑶　会議を公開することにより、当該会議の公正かつ円滑な議事運営に支障が生じ、当該会議の目的を達成することができないことが明らかに予想されるとき。

２　会議の内容に公開する事項と非公開とする事項がある場合において、議題を容易に区分して審議等を行うことができるときは、非公開の部分を除いて会議を公開（以下「一部公開」という。）するものとする。

第４　公開又は非公開の決定

附属機関等は、「第３　公開の基準」に基づき、会議の一部公開又は非公開を決定するものとし、会議を一部公開又は非公開と決定したときは、その理由を明らかにするものとする。

第５　会議の公開の方法

会議の公開は、傍聴希望者に対し、当該会議の傍聴を認めることにより行い、会場には一定の傍聴席を設けるものとする。なお、附属機関等の長は、会議の秩序維持及び会議の円滑な運営に努めるものとする。

第６　会議開催の公表

会議の開催に当たっては、市ホームページへの掲載、情報公開室における閲覧等の方法により、開催の概要を公表するものとする。ただし、会議を緊急に開催する必要が生じたときは、この限りでない。

第７　会議結果等の公表

会議を公開又は一部公開で行った場合は、会議終了後速やかに、「会議等における会議録及び報告書等の作成方針（平成24年７月26日通知）」に基づき、会議要旨を作成し、会議における配布資料とともに、市ホームページへの掲載、情報公開室における閲覧等の方法により、公表するものとする。

第８　その他

この指針に定めるもののほか、この指針の運用に当たって必要な事項は、附属機関等が別に定める。

第９　施行期日

この指針は、平成24年８月１日以後に開催される附属機関等の会議から適用する。

《 令和8年度　健康・生きがいづくり推進の組織体制　》

【霧島市健康・生きがいづくり推進協議会】

霧島市健康・生きがいづくり推進協議会	
1	姶良地区医師会 代表
2	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
3	姶良地区薬剤師会 代表
4	霧島市立医師会医療センター 代表
5	姶良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 代表
6	霧島市社会福祉協議会 代表
7	霧島市民生委員・児童委員協議会連合会 代表
8	霧島市校長協会 代表
9	霧島市地区自治公民館連絡協議会 代表
10	霧島市企業(京セラ株式会社) 代表
11	霧島市商工会・商工会議所 代表
12	霧島市健康運動普及推進員会 代表
13	教育関係団体(第一工科大学) 代表
14	霧島市農業委員会 会長

諮問

答申

専門的な意見や見解が必要な場合は、市に持ち帰る。

検討委員会から持ち帰った意見を参考に協議する。

霧　島　市

専門的な意見を聴取し、市に持ち帰る。

保健事業に関することや専門的な意見を求める。

【霧島市健康・生きがいづくり推進における各種専門検討委員会】

予防接種専門委員会	
1	姶良地区医師会 代表
2	姶良地区医師会 小児科医
3	姶良地区医師会 小児科医
4	姶良地区医師会 小児科医
5	姶良地区医師会 小児科医
6	姶良地区医師会 小児科医
7	姶良地区医師会 小児科医
8	姶良・伊佐地域振興局保健福祉環境部代表
9	姶良地区薬剤師会 代表

歯科保健専門委員会	
1	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
2	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
3	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
4	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
5	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
6	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
7	霧島市内産婦人科 代表
8	姶良地区医師会小児科医 代表
9	姶良地区薬剤師会 代表
10	霧島市保育協議会 代表
11	霧島市養護教諭部会 代表
12	姶良・伊佐地域振興局保健福祉環境部健康企画課 代表
13	8020運動推進員(霧島市食生活改善推進員連絡協議会) 代表
14	霧島市地域包括支援センター 代表

母子保健検討委員会	
1	姶良地区医師会産婦人科医 代表
2	姶良地区医師会小児科医 代表
3	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
4	姶良地区薬剤師会 代表
5	霧島市民生委員児童委員協議会連合会 代表
6	姶良・伊佐地域振興局保健福祉環境部健康企画課 代表
7	霧島市母子保健推進員会 会長
8	霧島市養護教諭部会 代表
9	霧島市保育協議会 代表

食育推進検討委員会	
1	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
2	NPO法人霧島食育研究会 理事長
3	霧島市食生活改善推進員連絡協議会 会長
4	霧島市保育協議会 代表
5	学識経験者(鹿児島県食育アドバイザー)
6	企業栄養士(株式会社グリーンハウス)
7	農業関係団体(霧島NEO-FARMERS)代表
8	あいら 農業協同組合 代表
9	姶良・伊佐地域振興局保健福祉環境部健康企画課 代表
10	鹿児島県栄養士会 代表
11	霧島市栄養教諭 代表
12	霧島市学校保健会 代表
13	霧島市PTA連絡協議会 代表

自殺対策検討委員会	
1	姶良地区医師会 代表
2	霧島市歯科医院 代表
3	姶良地区薬剤師会 代表
4	霧島警察署生活安全課 代表
5	霧島市心の健康相談従事者(臨床心理士)
6	霧島市企業(株式会社タブチ) 代表
7	霧島市地域包括支援センター 代表
8	霧島市児童委員・民生委員協議会連合会 代表
9	霧島市商工観光部商工振興課消費生活センター相談員
10	保健福祉部生活福祉課 代表
11	教育委員会学校教育課 代表
12	霧島市消防局警防課 代表
13	姶良・伊佐地域振興局保健福祉環境部地域保健福祉課 代表

成人保健専門委員会	
1	姶良地区医師会 代表
2	姶良地区医師会 代表
3	姶良地区医師会 代表
4	姶良地区歯科医師会霧島市支部 代表
5	姶良地区薬剤師会 代表
6	姶良・伊佐地域振興局保健福祉環境部健康企画課 代表
7	鹿児島県栄養士会 代表
8	鹿児島県歯科衛生士会 代表

１．健康きりしま２１（第４次）計画の進捗状況について

健康づくり分野

【栄養・食生活改善と食育推進（食育推進計画）】

個別目標１　健康なこころと身体をつくる食生活の実践を支援する（食）　（計画書 P. 19）

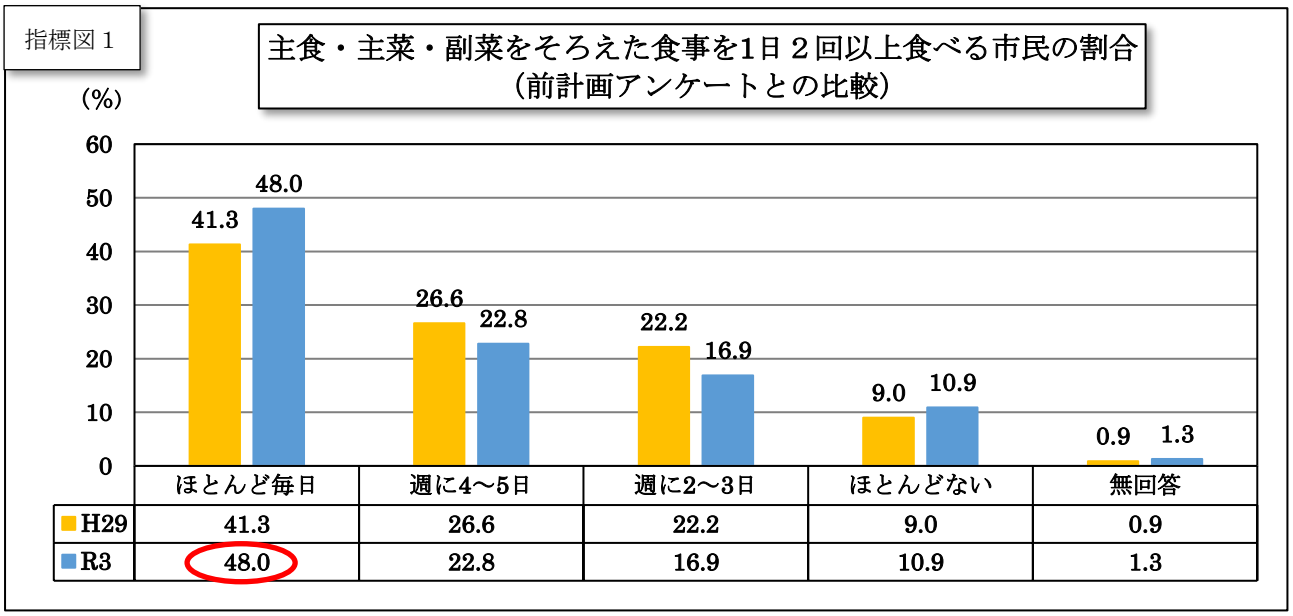
【目標値】

項目		基準値 令和４年度 （2022 年度）	目標値 令和９年度 （2027 年度）	
主食・主菜・副菜をそろえた食事を１日２回以上食べる市民の割合（20 歳以上）	成人	48.0%（※１）	60.0%（※２）	（指標図 1）
朝食を毎日食べる小中学生の割合	小学６年生	84.2%（※３）	100.0%（※２）	（指標図 2）
	中学３年生	85.7%（※３）	100.0%（※２）	
成人の肥満者の割合（40 歳～69 歳）	男性	37.5%（※４）	36.0%（※５）	（指標図 3）
	女性	25.0%（※４）	23.5%（※５）	
高齢者の低栄養傾向（ＢＭＩ 20 以下）の割合	65 歳以上	17.3%（※６）	16.8%（※７）	（指標図 4）

（※１）令和３（2021）年度「健康きりしま 21 アンケート調査」
（※２）前計画の目標値と同じ
（※３）令和３（2021）年度　学校教育課「全国学力・学習状況調査」
（※４）令和３（2021）年度　「特定健診結果」
（※５）国の目標値算出基準と同じ
（※６）令和３（2021）年度「特定健診・長寿健診結果」
（※７）県の目標値と同じ

（１）主食・主菜・副菜をそろえた食事を１日２回以上食べる市民の割合について

指標図１

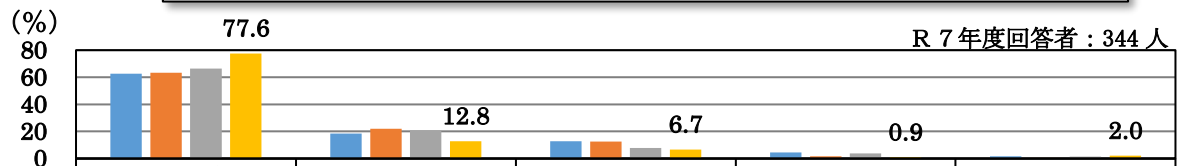


※Ｒ３年度については、小数点以下第２位を四捨五入しているため 100%にならない。

資料：令和３（2021）年度 健康きりしま 21 アンケート（健康増進課）

関連図１－１

主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上食べる割合【20歳以上】



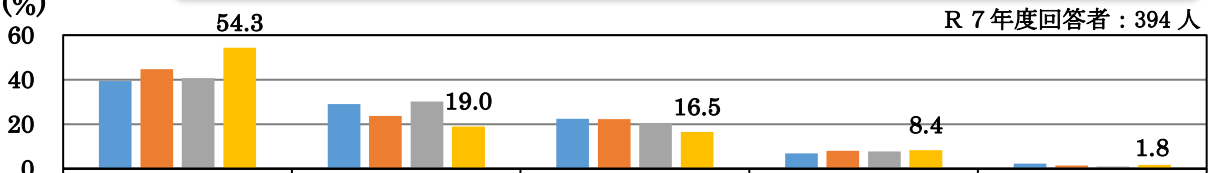
	ほとんど毎日（週に６～7日）	週に4～5日	週に2～3日	ほとんど食べない	無回答
R４	62.7	18.4	12.7	4.6	1.6
R５	63.5	22.1	12.4	1.6	0.4
R６	66.4	20.6	7.7	3.8	1.4
R７	77.6	12.8	6.7	0.9	2.0

※Ｒ６年度については小数点以下第２位を四捨五入しているため 100%にならない。

資料：健康福祉まつり来場者アンケート（健康増進課）

関連図１－２

主食・主菜・副菜をそろえた食事を１日２回以上食べる割合【子育て世代】



	ほとんど毎日（週に６～7日）	週に4～5日	週に2～3日	ほとんど食べない	無回答
R４	39.4	29.0	22.5	6.8	2.3
R５	44.6	23.7	22.3	8.0	1.4
R６	40.7	30.2	20.2	7.8	1.0
R７	54.3	19.0	16.5	8.4	1.8

※Ｒ３、Ｒ６年度については小数点以下第２位を四捨五入しているため 100%にならない。

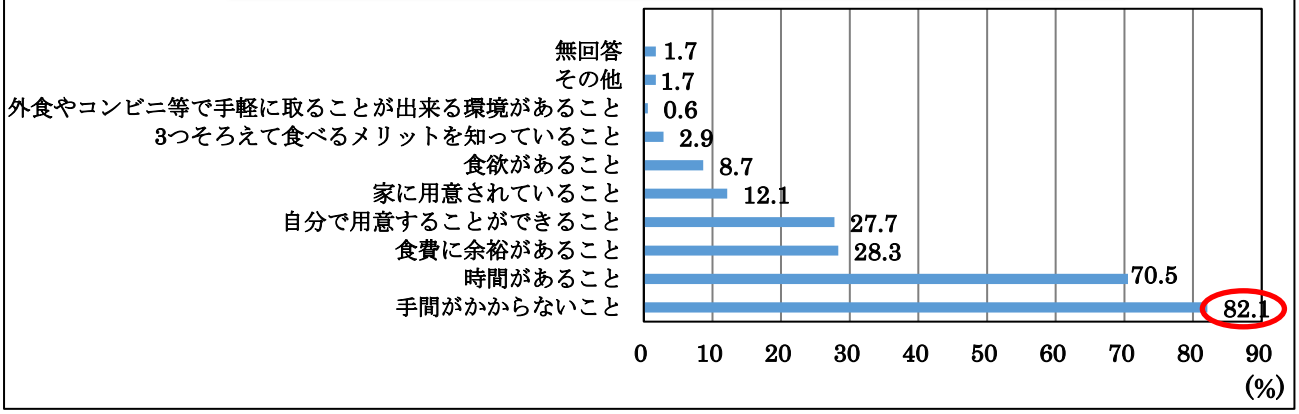
資料：７～８か月児教室アンケート（健康増進課）

関連図１－１の健康福祉まつり来場者アンケートの回答者は 50 歳代以上が７割を占め、「ほとんど毎日食べる割合」は令和７年度 77.6%で、60%を超えている。関連図１－２の７～８か月児教室アンケートの回答者は 20 歳代～40 歳代で、「ほとんど毎日食べる割合」は令和７年度 54.3%となっており、60%を下回っている。

関連図１－３

主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要なこと【子育て世代】

（複数回答）
回答者：173 人

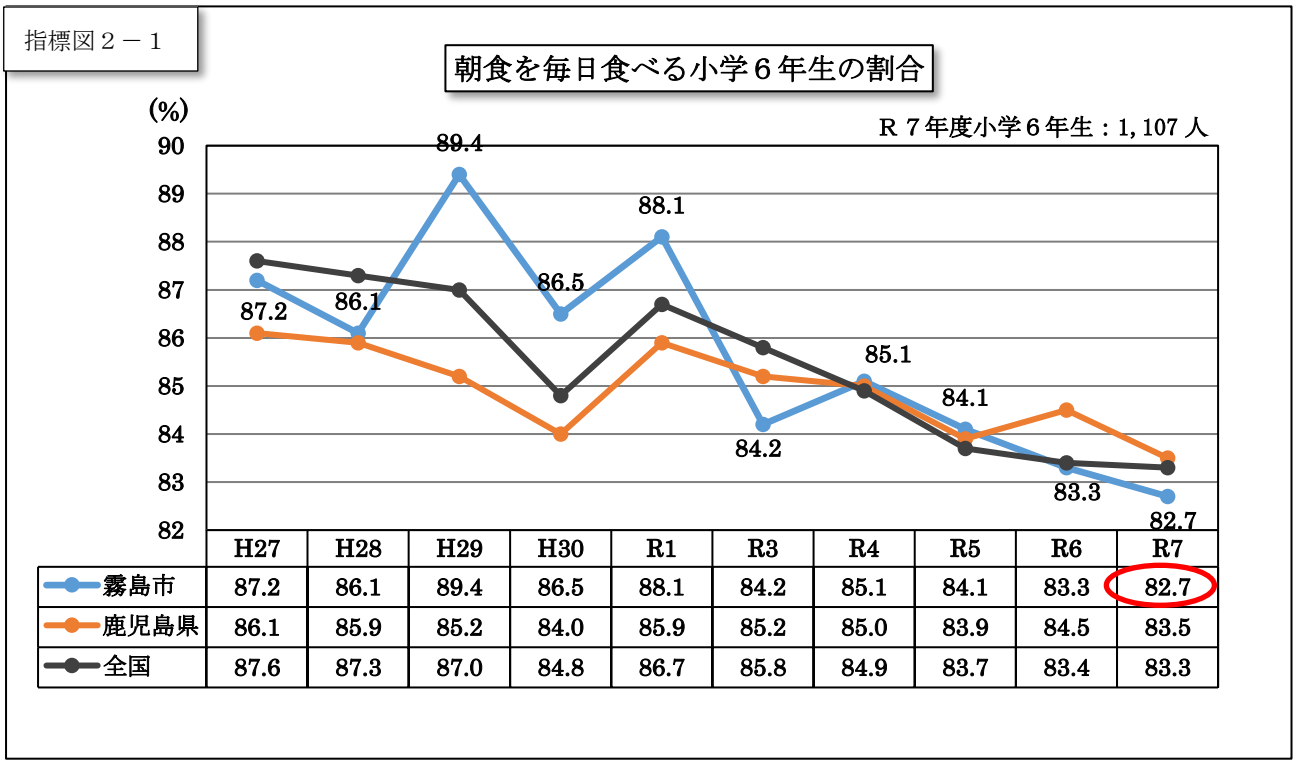


資料：令和７年度　７～８か月児教室アンケート（健康増進課）

関連図１－３の主食・主菜・副菜をそろえて食べる回数を増やすために必要なこととして、「手間がかからないこと」が 82.1%と高くなっており、子育て世代では簡便化志向（料理や後片付けの手間・時間を省きたい）の人が増えている。

（２）朝食を毎日食べる小中学生の割合について

指標図２－１

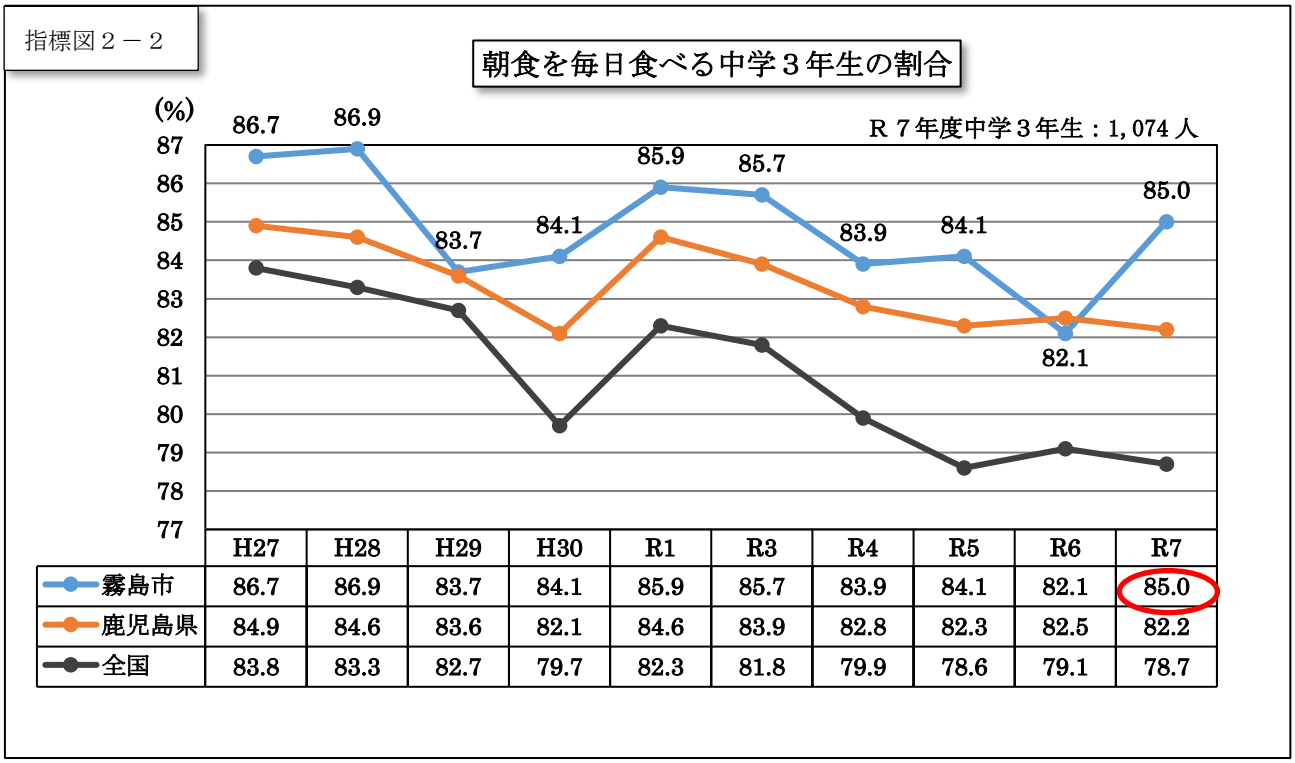


	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6	R7
霧島市	87.2	86.1	89.4	86.5	88.1	84.2	85.1	84.1	83.3	82.7
鹿児島県	86.1	85.9	85.2	84.0	85.9	85.2	85.0	83.9	84.5	83.5
全国	87.6	87.3	87.0	84.8	86.7	85.8	84.9	83.7	83.4	83.3

※Ｒ２年度はコロナ禍で調査なし

資料：全国学力・学習状況調査（学校教育課）

指標図２－２



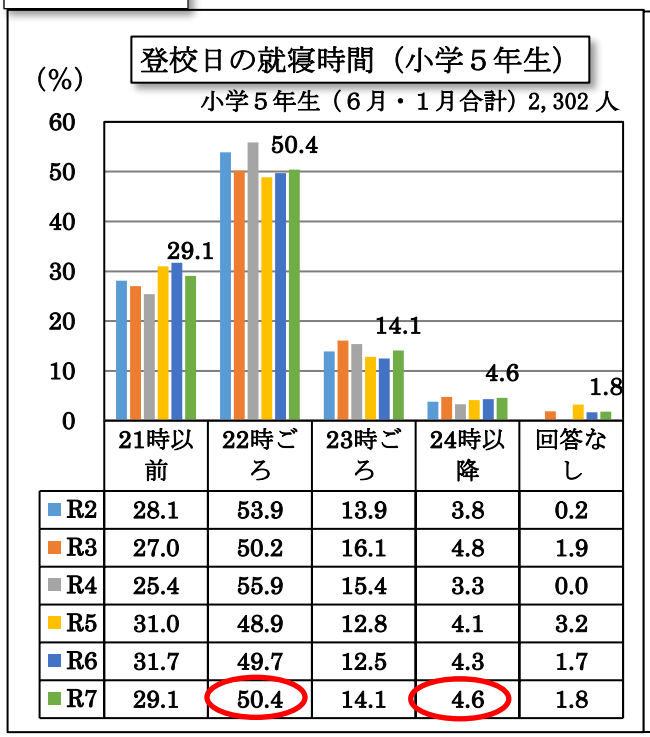
	H27	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6	R7
霧島市	86.7	86.9	83.7	84.1	85.9	85.7	83.9	84.1	82.1	85.0
鹿児島県	84.9	84.6	83.6	82.1	84.6	83.9	82.8	82.3	82.5	82.2
全国	83.8	83.3	82.7	79.7	82.3	81.8	79.9	78.6	79.1	78.7

※Ｒ２年度はコロナ禍で調査なし

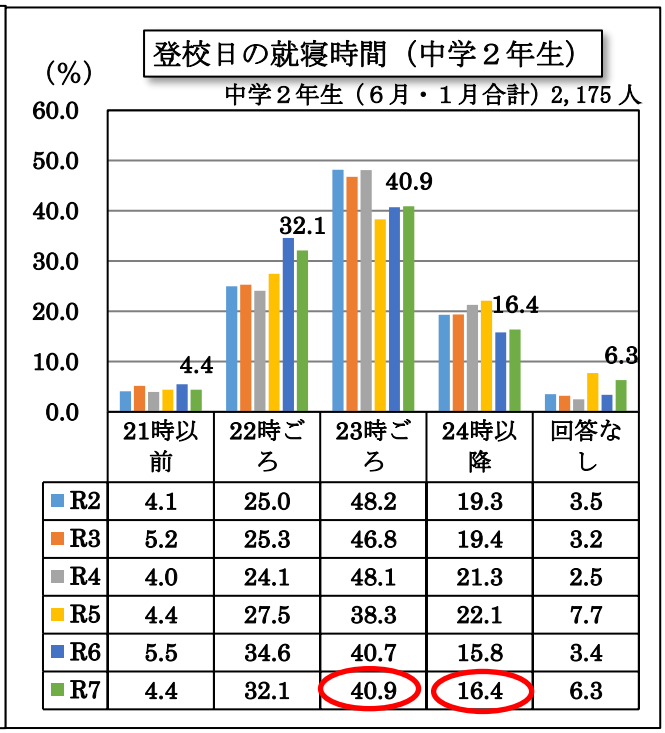
資料：全国学力・学習状況調査（学校教育課）

指標図２－１の令和７年度の「朝食を毎日食べる小学６年生の割合」は、前年度と比較して 82.7%と低くなっており、全国・県よりも低くなっている。指標図２－２の令和７年度の「朝食を毎日食べる中学３年生の割合」は、前年度と比較して 85.0%と高くなっており、全国や県よりも高くなっている。小学６年生、中学３年生ともに、目標値の 100%を大きく下回っている。

関連図２－１



	21時以前	22時ごろ	23時ごろ	24時以降	回答なし
R2	28.1	53.9	13.9	3.8	0.2
R3	27.0	50.2	16.1	4.8	1.9
R4	25.4	55.9	15.4	3.3	0.0
R5	31.0	48.9	12.8	4.1	3.2
R6	31.7	49.7	12.5	4.3	1.7
R7	29.1	50.4	14.1	4.6	1.8

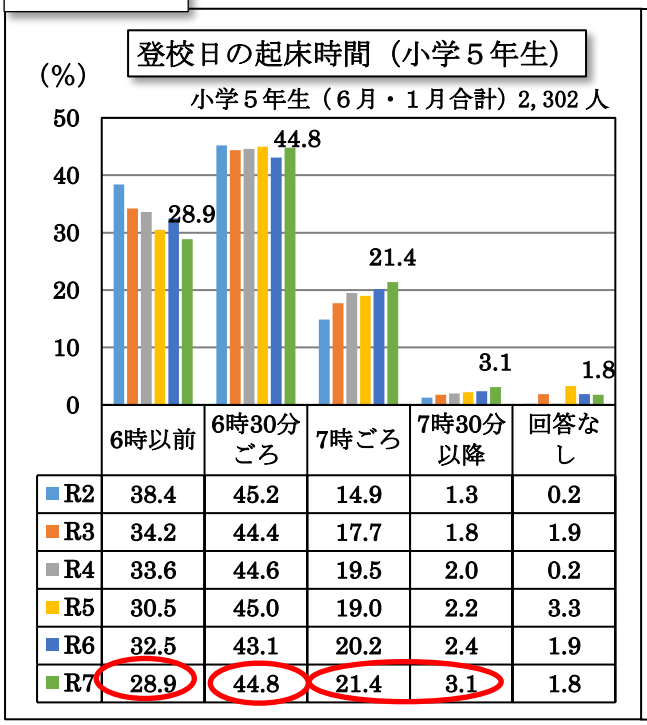


	21時以前	22時ごろ	23時ごろ	24時以降	回答なし
R2	4.1	25.0	48.2	19.3	3.5
R3	5.2	25.3	46.8	19.4	3.2
R4	4.0	24.1	48.1	21.3	2.5
R5	4.4	27.5	38.3	22.1	7.7
R6	5.5	34.6	40.7	15.8	3.4
R7	4.4	32.1	40.9	16.4	6.3

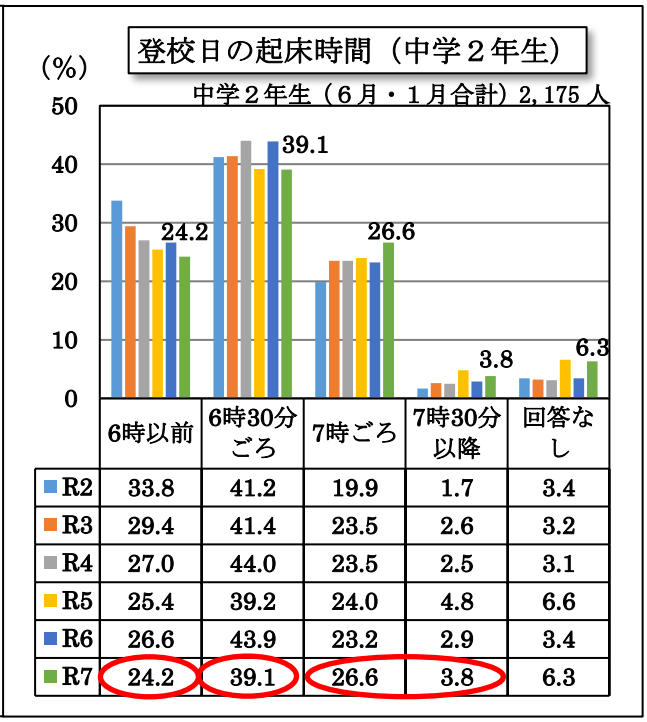
※ %は小数点以下第２位を四捨五入しているため、必ずしも 100%にならない。

資料：児童生徒の早寝早起き朝ごはんに関する調査６月・１月調査の平均（学校給食課）

関連図２－２



	6時以前	6時30分ごろ	7時ごろ	7時30分以降	回答なし
R2	38.4	45.2	14.9	1.3	0.2
R3	34.2	44.4	17.7	1.8	1.9
R4	33.6	44.6	19.5	2.0	0.2
R5	30.5	45.0	19.0	2.2	3.3
R6	32.5	43.1	20.2	2.4	1.9
R7	28.9	44.8	21.4	3.1	1.8



	6時以前	6時30分ごろ	7時ごろ	7時30分以降	回答なし
R2	33.8	41.2	19.9	1.7	3.4
R3	29.4	41.4	23.5	2.6	3.2
R4	27.0	44.0	23.5	2.5	3.1
R5	25.4	39.2	24.0	4.8	6.6
R6	26.6	43.9	23.2	2.9	3.4
R7	24.2	39.1	26.6	3.8	6.3

※ %は小数点以下第２位を四捨五入しているため、必ずしも 100%にならない。

資料：児童生徒の早寝早起き朝ごはんに関する調査６月・１月調査の平均（学校給食課）

関連図2－1の令和7年度の登校日の就寝時間では、小学5年生は「22 時ごろ」が 50.4%と最も高く、中学2年生は「23 時ごろ」が 40.9%と最も高くなっている。「24 時以降」の割合は、中学2年生では 16.4%と小学5年生の 4.6%よりも高くなっている。

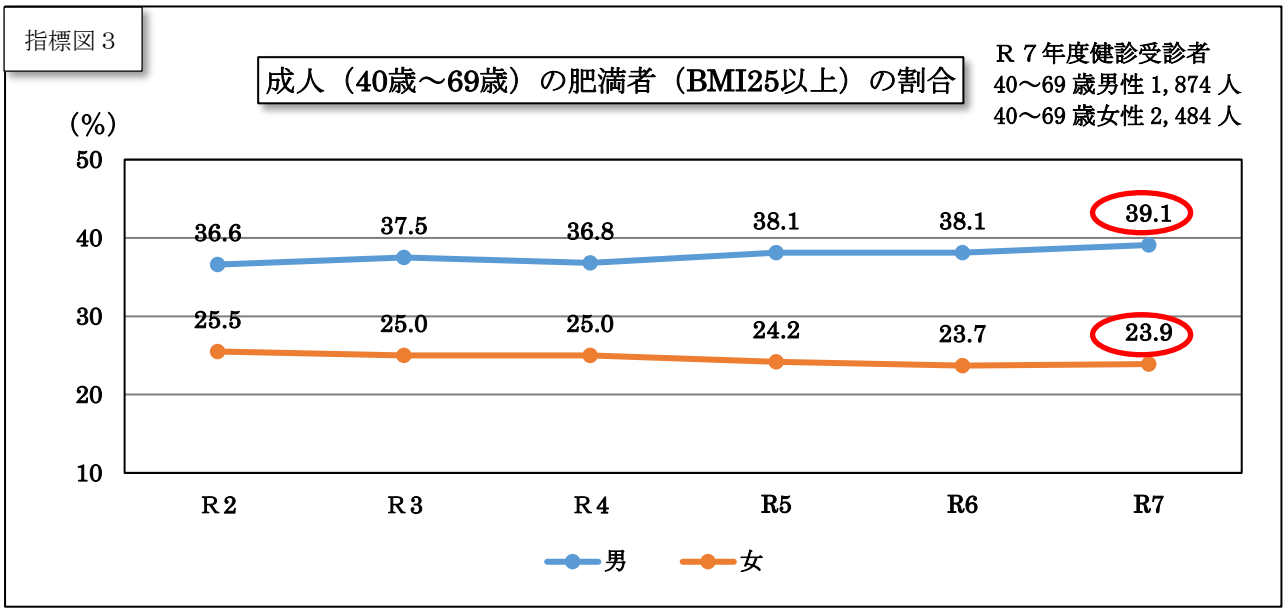
関連図２－２の令和７年度の登校日の起床時間では、小学５年生は「６時 30 分ごろ」が 44.8%と最も高く、中学２年生も「６時 30 分ごろ」が 39.1%と最も高くなっている。経年でみると、小学５年生、中学２年生ともに「６時以前」の割合は減少しており、「７時ごろ」「７時 30 分以降」の割合は増加している。

（３）成人（40 歳～69 歳）の肥満者（ＢＭＩ 25 以上）の割合について

＜肥満の判定＞

ＢＭＩ（Body Mass Index）＝体重（kg）／（身長（m））^{2}を用いて、ＢＭＩ 25 以上を肥満と判定する。（肥満症診療ガイドライン 2022 より）

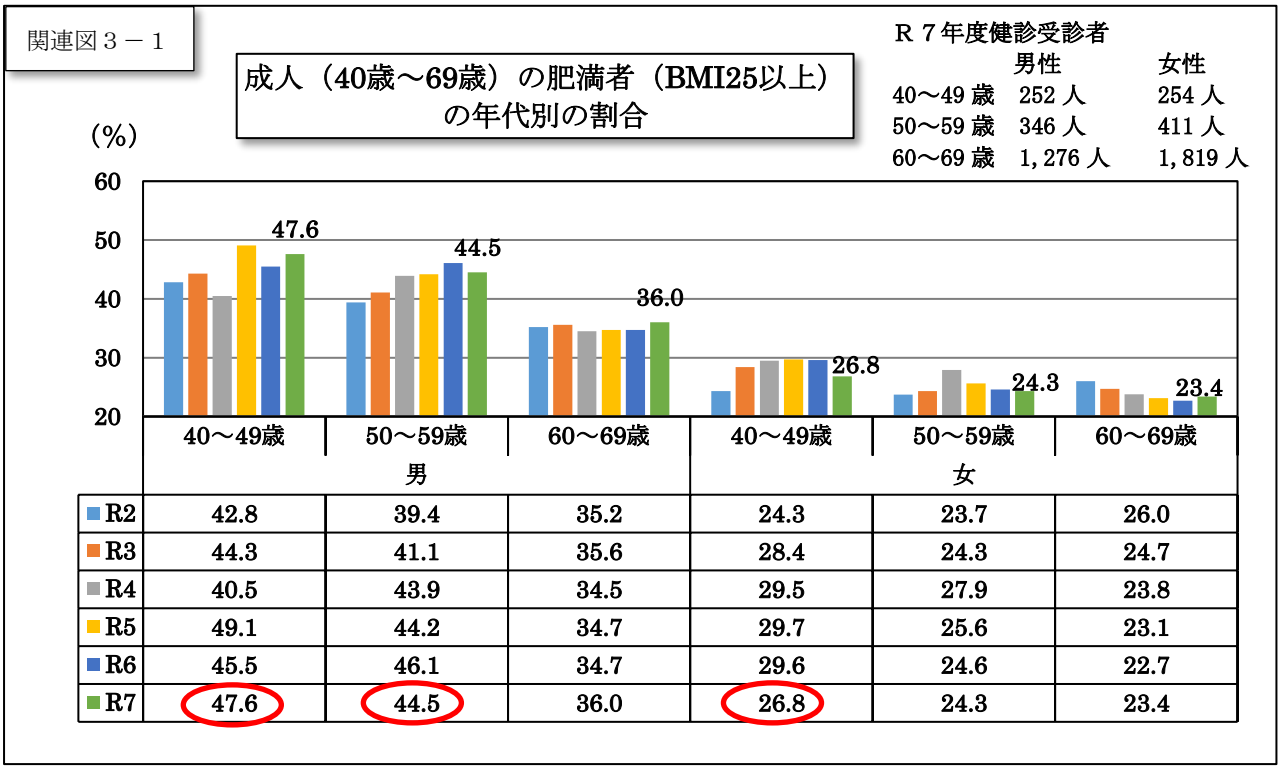
指標図３



資料：特定健診・長寿健診結果（保険年金課）

指標図３の令和７年度の「成人（40 歳～69 歳）の肥満者（ＢＭＩ 25 以上）の割合」は男性 39.1%、女性 23.9%となっている。目標値の男性 36.0%、女性 23.5%よりも高くなっている。

関連図３－１



	男 40～49歳	男 50～59歳	男 60～69歳	女 40～49歳	女 50～59歳	女 60～69歳
R2	42.8	39.4	35.2	24.3	23.7	26.0
R3	44.3	41.1	35.6	28.4	24.3	24.7
R4	40.5	43.9	34.5	29.5	27.9	23.8
R5	49.1	44.2	34.7	29.7	25.6	23.1
R6	45.5	46.1	34.7	29.6	24.6	22.7
R7	47.6	44.5	36.0	26.8	24.3	23.4

資料：特定健診・長寿健診結果（保険年金課）

関連図３－１の令和７年度の「成人（40 歳～69 歳）の肥満者（ＢＭＩ 25 以上）の年代別の割合」は、男性で 40～49 歳 47.6%、50～59 歳 44.5%と高くなっており、女性で 40～49 歳 26.8%と高くなっている。

＜学校保健統計調査方式による肥満度判定＞

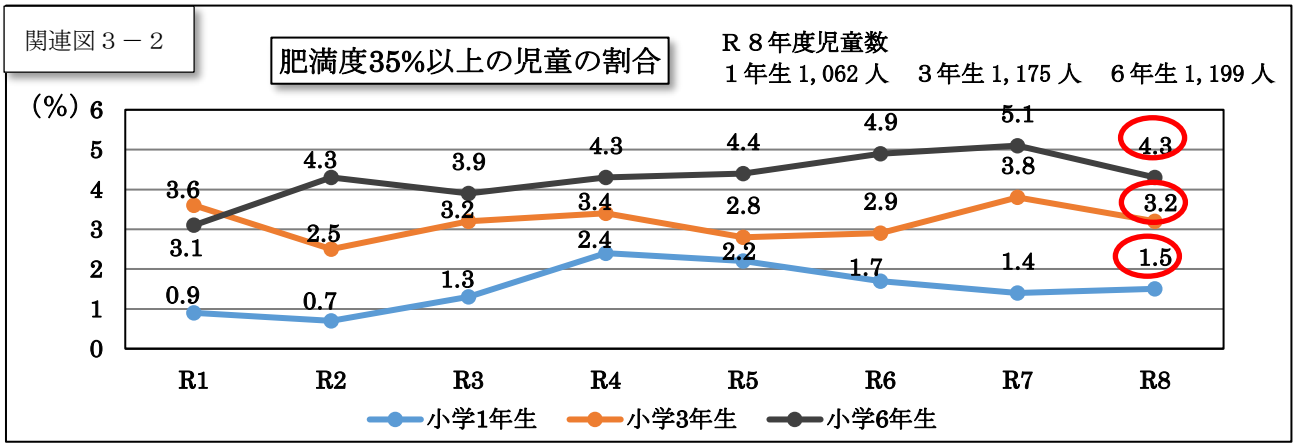
肥満度は、性別、年齢別、身長別標準体重から判定する。

肥満度（過体重度）＝（実測体重（kg）－身長別標準体重（kg）/身長別標準体重（kg）×100（%）

判定	やせ傾向		普通	肥満傾向		
	-20%以下			20%以上		
	高度やせ	軽度やせ		軽度肥満	中等度肥満	高度肥満
肥満度	-30%以下	-30%超 -20%以下	-20%超～ +20%未満	20%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上

肥満度 35%以上

関連図３－２



資料：小児生活習慣病予防検診（学校教育課）

関連図３－２の令和８年度の「肥満度 35%以上の児童の割合」は、小学１年生 1.5%、小学３年生 3.2%、小学６年生 4.3%となっている。小学３、６年生の割合が令和７年度よりも低くなっている。

（４）高齢者（65 歳以上）の低栄養傾向（ＢＭＩ20 以下）の割合について

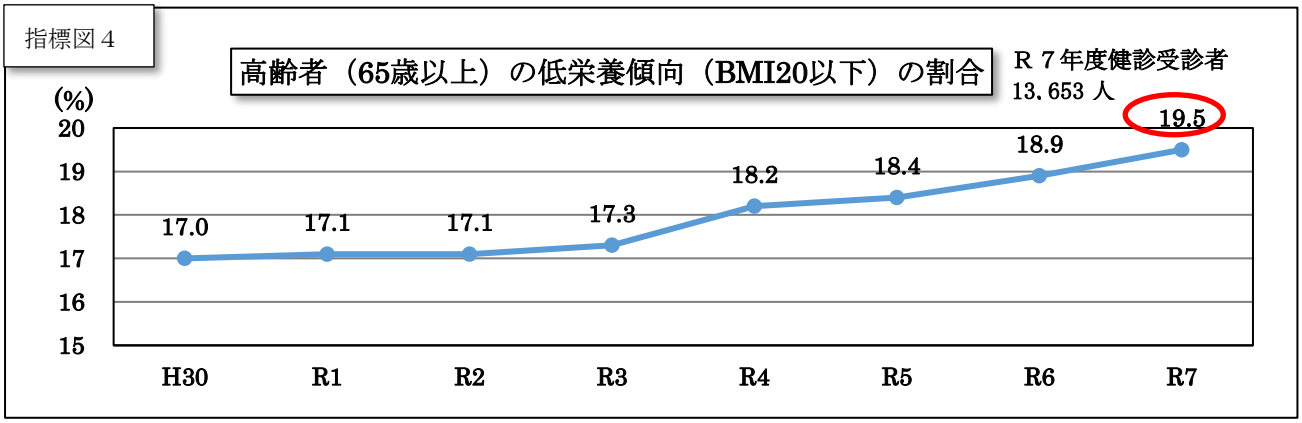
65 歳以上では、総死亡率をできるだけ低く抑えるための下限は 20.0 から 21.0 付近となるが、その他の考慮すべき健康障害等を勘案して、当面目標とする BMI の範囲を 21.5～24.9 kg/㎡とする。

（2025 年度日本人の食事摂取基準より）

目標とする BMI の範囲（18 歳以上）

年齢（歳）	目標とする BMI（kg/㎡）
18～49	18.5～24.9
50～64	20.0～24.9
65～74	21.5～24.9
75 以上	21.5～24.9

指標図４



資料：特定健診・長寿健診結果（保険年金課）

指標図４の令和７年度の「高齢者（65 歳以上）の低栄養傾向（ＢＭＩ20 以下）の割合」は、前年度と比較して 19.5%と高くなっている。目標値の 16.8%よりも高くなっており、低栄養傾向の高齢者が増えている。

【取組】

担当課	令和７年度の取組	令和８年度の取組
健康増進課	【食育推進事業】 ・ 保育園、認定こども園、幼稚園で食育教室を実施(16 園 297 人)   ・ 出前講座の食育講座を実施（４回 108 人） ・ 京セラ国分工場第３食堂主催の健康フェアに参加協力（令和７年８月 26 日） ・ 国分中央高校生活文化科３年生へ生活習慣病予防の料理教室を食生活改善推進員と協働で実施(令和７年 10 月 27 日 国分中央高校生活文化科３年生 30 人)   ・ 朝食リーフレット「今日の元気は朝ごはんから」を小・中学校に配信し、活用を依頼（活用した小・中学校の数：30 校、普及啓発した児童生徒の数：6,575 人、活用内容：授業や学級活動、生徒集会、給食時間等で活用、保護者にもＰＴＡや学校保健委員会、給食試食会、安心メール等で普及啓発）  ・ 令和７年度からすこやか保健センターと連携して、毎月 19 日の食育の日に、時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信 【国保保健事業】 ・ 40 歳以上 75 歳未満の特定健診保健指導対象者及び重症化予防(糖尿病・CKD・高血圧)対象者に対して、保健指導を実施（特定保健指導実施 471 人、糖尿病重症化予防保健指導実施 134 人） 【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業】 ・ 75 歳以上のハイリスクアプローチとして、重症化予防(糖尿病・CKD 等)、低栄養予防に取り組み、個別支援(訪問や面談)を実施(重症化予防保健指導実施 426 人、低栄養保健指導実施 32 人) ・ 長寿健診結果郵送時に、オーラルフレイル予防を目的に「今日からはじめよう！自分でできる！健口体操・口腔ケア」リーフレットを同封 【健康相談事業】 ・ セット検診や肝炎検診等での健康相談時に食塩摂取量チェック表を記入してもらい、多い人には減塩に取り組むことを勧めた（健康相談実施 830 人）	【食育推進事業】 ・ 母子保健課と連携して、保育園、認定こども園、幼稚園で食育教室を実施(14 園実施予定) ・ 出前講座の食育講座を実施 ・ 鹿児島県栄養士会主催の栄養の日イベントに参加協力（令和８年８月 10 日来場者 70 人） ・ 働き世代向けの料理教室を食生活改善推進員と協働で実施予定（令和８年９月 11 日） ・ 国分中央高校生活文化科３年生へ生活習慣病予防の料理教室を食生活改善推進員と協働で実施予定(令和８年 10 月 26 日) ・ 母子保健課と連携して、毎月 19 日の食育の日に、時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信 【国保保健事業】 ・ 40 歳以上 75 歳未満の特定健診保健指導対象者及び重症化予防(糖尿病・CKD・高血圧)対象者に対する保健指導を実施する 【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業】 ・ 75 歳以上のハイリスクアプローチとして、重症化予防(糖尿病・CKD 等)、低栄養予防に取り組み、個別支援(訪問や面談)を行う 【健康相談事業】 ・ セット検診や肝炎検診等での血圧測定時に食育推進リーフレット(減塩するする法則)を活用して啓発を行う

担当課	令和７年度の取組	令和８年度の取組
学校教育課	・ 肥満度 35%以上の児童（小１・３・６年生）を対象に小児生活習慣病予防健診を公費負担で実施 ・ 小児生活習慣病予防健診の未受診者に対し、受診勧奨を実施 ・ 食に関する指導について、栄養教諭の授業への参画を実施し、児童生徒に対し、食の大切さ、栄養素などについてより具体的な指導を実施	・ 肥満度 35%以上の児童（小１・３・６年生）を対象に小児生活習慣病予防健診を公費負担で実施 ・ 小児生活習慣病予防健診の未受診者に対し、受診勧奨を実施 ・ 食に関する指導について、栄養教諭の授業への参画を実施し、児童生徒に対し、食の大切さ、栄養素などについてより具体的な指導を実施
母子保健課	・ 生後４～５か月児の保護者へ離乳食教室を毎月実施(12 回 208 組) ・ 生後７～８か月児の保護者へ離乳食講話を毎月実施（24 回 552 組）   ・ 1.6 歳・３歳児健診での栄養指導を毎月実施（510 組） ・ 育児相談で栄養相談を毎月実施（12 回 59 組） ・ 出前講座で離乳食講話の実施（2 回 36 人） ・ 健康増進課と連携して保育園、認定こども園、幼稚園で食育教室を実施(健康増進課と合わせて 16 園 297 人実施) ・ 母子手帳交付時に妊婦向け食事資料を配付 ・ 健康増進課と連携して毎月 19 日の食育の日に時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信	・ 生後４～５か月児の保護者へ離乳食教室を毎月実施 ・ 生後７～８か月児の保護者へ離乳食講話を毎月実施 ・ 1.6 歳・３歳児健診での栄養指導を毎月実施 ・ 育児相談での栄養相談を毎月実施 ・ 出前講座での離乳食講話の実施 ・ 健康増進課と連携して保育園、認定こども園、幼稚園で食育教室を実施 （健康増進課と合わせて　14 園実施予定） ・ 妊婦向け食事資料を配布 ・ 健康増進課と連携して毎月 19 日の食育の日に時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信
長寿介護課	【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業】 ・ きりしま元気一番講座で、栄養講話を実施(10 か所 131 人) ・ 運動体操サロンで、低栄養予防についての講話を実施（９会場 155 人） 食事摂取状況調査後、個別コメントを付けて返却し、低栄養傾向の方に栄養相談を実施。また、味噌汁の食塩濃度測定の実施。 	【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業】 ・ きりしま元気一番講座で、栄養講話を実施（10 か所実施予定） ・ 運動体操サロンで、低栄養予防についての講話を実施（10 会場実施予定） 食事摂取状況調査後、個別コメントを付けて返却し、低栄養傾向の方に栄養相談を実施。また、味噌汁の食塩濃度測定の実施。 ・ 7/16、30 に高血圧予防のための栄養教室を実施し、適塩濃度の味噌汁試飲や、食塩チェックシートを活用して、自宅で調理した味噌汁の食塩濃度を確認するなどの取組を行った。また「きりしま式減塩するする法則」の資料を用いて、減塩のポイントについて説明を行った。

個別目標２　地産地消を推進する（農）　（計画書 P. 21）

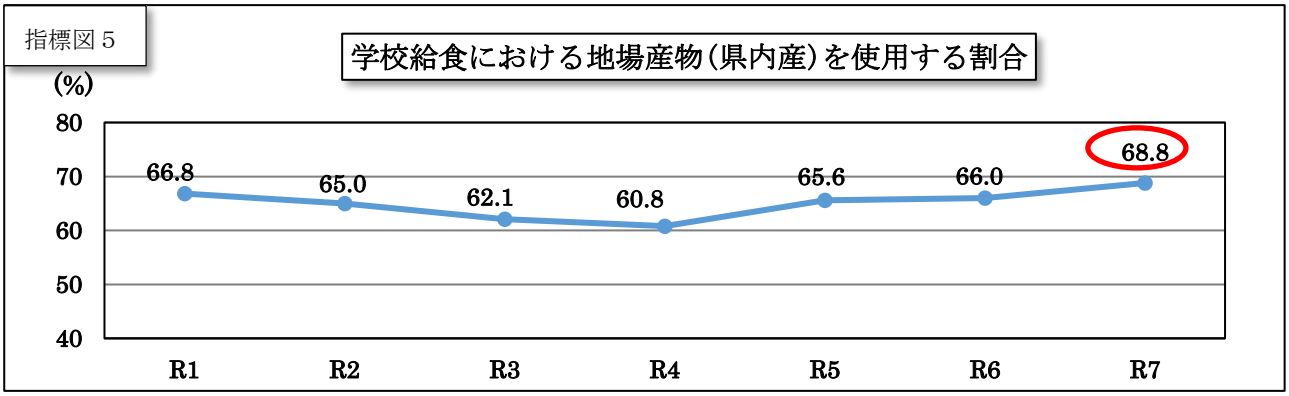
【目標値】

項目	基準値 令和４年度 （2022 年度）	目標値 令和９年度 （2027 年度）	
学校給食における地場産物（県内産）を使用する割合	62.1%（※１）	70.0%（※２）	（指標図 5）
物産館の利用者数	684,728 人（※３）	719,000 人（※４）	（指標図 6）

（※１）令和３（2021）年度　学校給食課「学校給食における地場産物活用状況調査（6 月・1 月の平均値）」
（※２）県と同じ目標値
（※３）令和３（2021）年度　農政畜産課「物産館入場者数調査」
（※４）毎年度１%増加し５年間で５%増加

（１）学校給食における地場産物（県内産）を使用する割合について

指標図 5

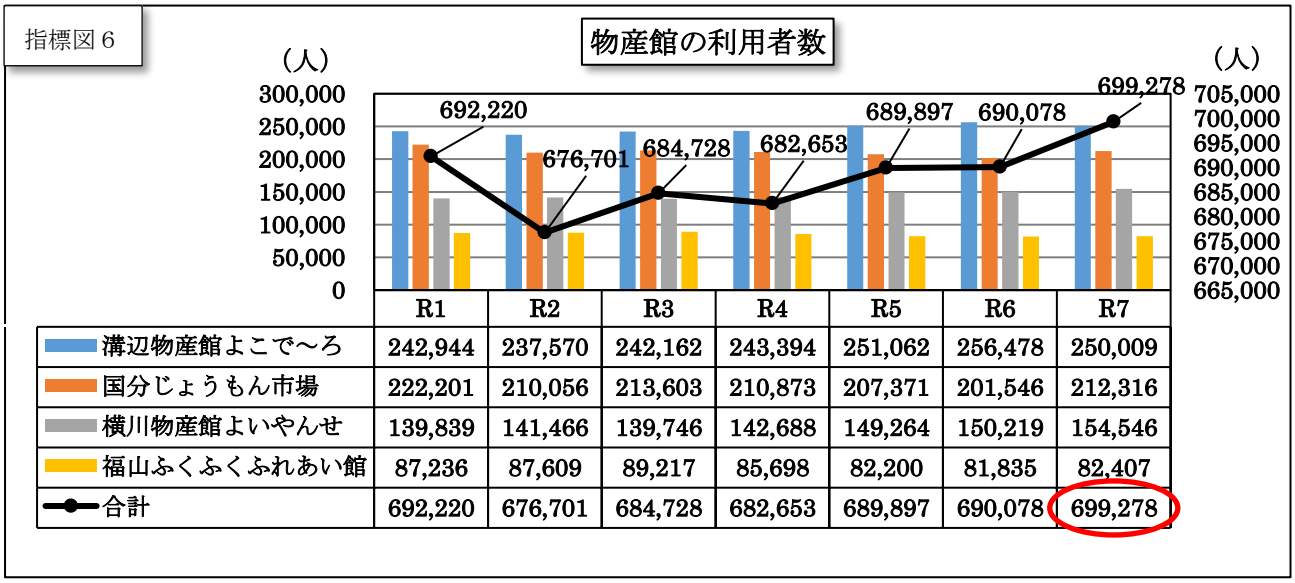


資料：学校給食における地場産物活用状況調査６月・１月調査の平均（学校給食課）

指標図５の令和７年度の「学校給食における地場産物（県内産）を使用する割合」は、68.8%となっている。令和６年度の 66.0%から 2.8 ポイント増加している。

（２）物産館の利用者数について

指標図 6



	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
溝辺物産館よこで～ろ	242,944	237,570	242,162	243,394	251,062	256,478	250,009
国分じょうもん市場	222,201	210,056	213,603	210,873	207,371	201,546	212,316
横川物産館よいやんせ	139,839	141,466	139,746	142,688	149,264	150,219	154,546
福山ふくふくふれあい館	87,236	87,609	89,217	85,698	82,200	81,835	82,407
合計	692,220	676,701	684,728	682,653	689,897	690,078	699,278

資料：物産館入場者数調査（農政畜産課）

指標図６の令和７年度の「物産館の利用者数」は、699,278 人となっており、増加している。

【取組】

担当課	令和７年度の取組	令和８年度の取組
健康増進課	・　イベントや教室、出前講座等で、霧島の食材の紹介	・　イベントや教室、出前講座等で、霧島の食材の紹介
農政畜産課	・　物産館の設置及び管理運営の協力（市内４物産館） ・　各種イベント等での霧島茶の普及活動（３イベント参加） ・　霧島ガストロノミー推進協議会への協力  	・　物産館の設置及び管理運営の協力（市内４物産館） ・　各種イベント等での霧島茶の普及活動 ・　霧島ガストロノミー推進協議会への協力
学校給食課	・　残食率の把握 ・　献立表を通した食に関する情報発信の充実 ・　広報誌を通した学校給食の情報提供  ・　栄養教諭による食に関する指導 ・　地場産物の積極的な活用（農政畜産課との情報共有体制強化）	・　残食率の把握 ・　献立表等を通した食に関する情報発信の充実 ・　広報誌等を通した学校給食の情報提供 ・　栄養教諭等による食に関する指導 ・　地場産物の積極的な活用（農政畜産課との情報共有体制強化）

個別目標３　食の楽しさ・大切さを理解し受け継いでいく市民を増やす（育）　（計画書 P. 22）

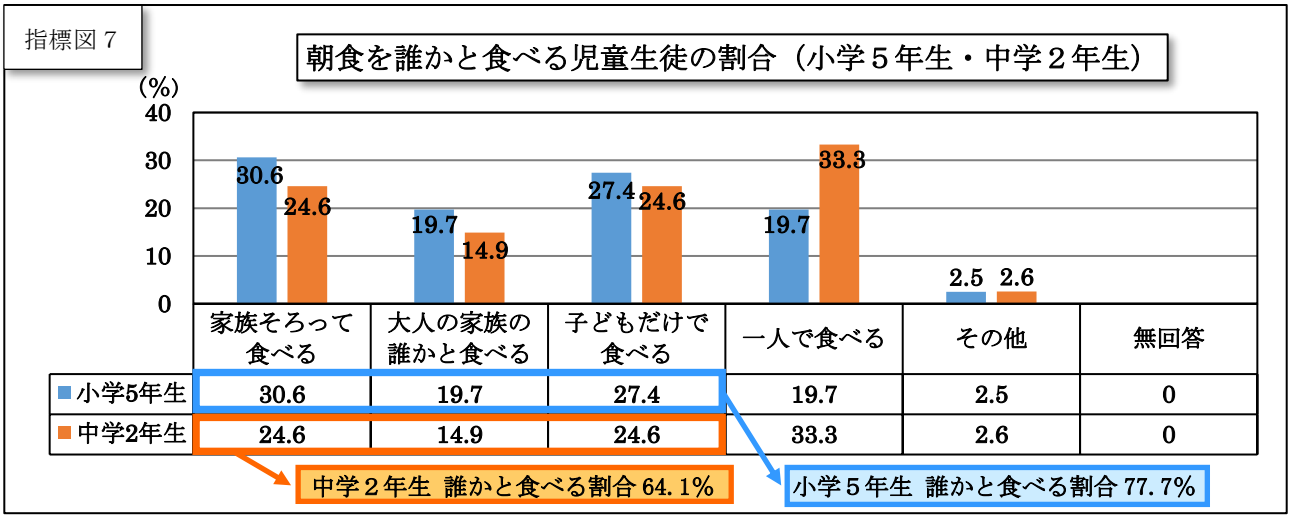
【目標値】

項目		基準値 令和４年度 （2022 年度）	目標値 令和９年度 （2027 年度）	
朝食を誰かと食べる児童生徒の割合	小学５年生	77. 7%（※１）	82. 7%（※２）	（指標図 7）
	中学２年生	64. 1%（※１）	69. 1%（※２）	
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承している若い世代の割合	７～８か月児教室対象児の保護者	45. 6%（※３）	50. 6%（※２）	（指標図 8）

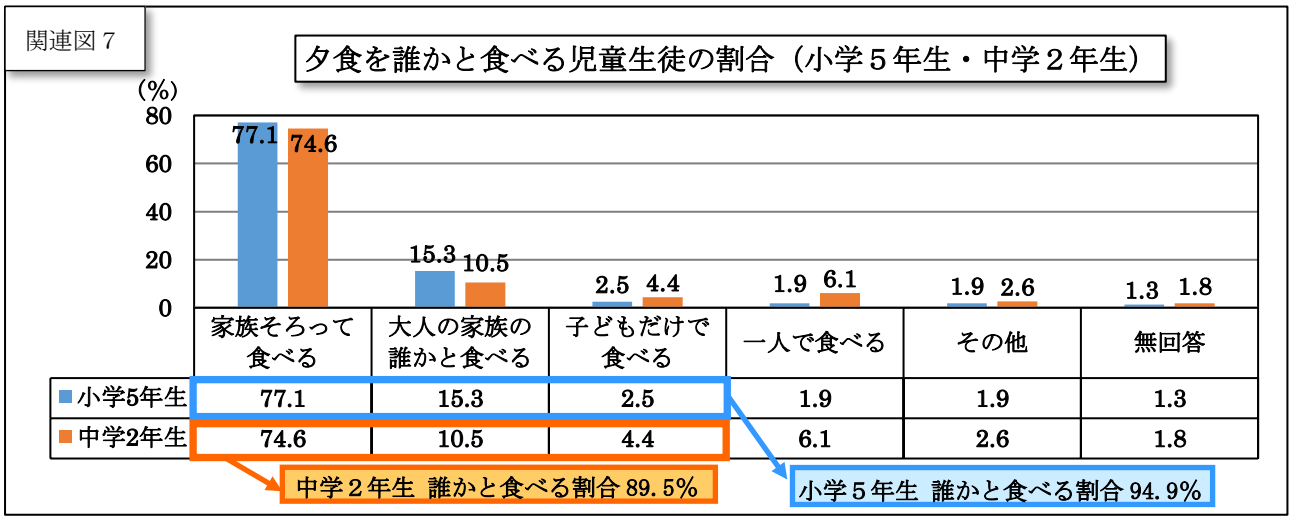
（※１）令和３（2021）年度「健康きりしま 21 アンケート調査」
（※２）毎年度１%増加し５年間で５%増加
（※３）令和３（2021）年度　健康増進課「７～８か月児教室参加者アンケート」

（１）朝食を誰かと食べる児童生徒の割合について

指標図７



関連図７



※小数点以下第２位を四捨五入しているため 100%にならない。

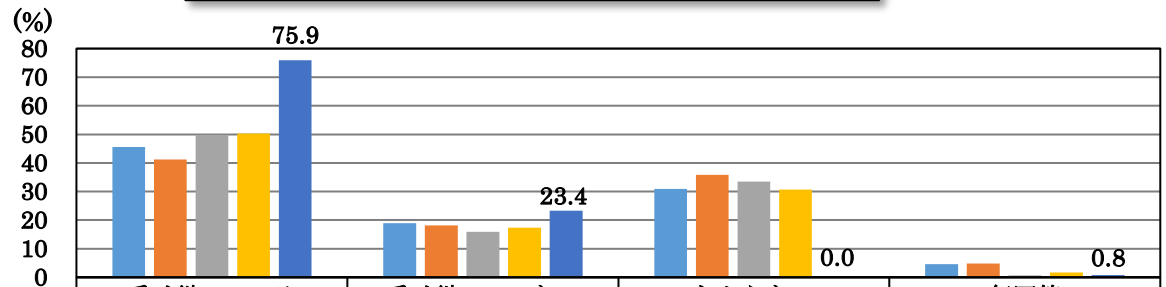
資料：令和３（2021）健康きりしま 21 アンケート調査（健康増進課）

指標図７の「朝食を誰かと食べる児童生徒の割合」は、小学５年生 77. 7%、中学２年生が 64. 1%となっている。「夕食を誰かと食べる児童生徒の割合」は、小学５年生 94. 9%、中学２年生 89. 5%となっており、朝食の方が夕食よりも誰かと食べる割合が低くなっている。（令和３年度比較）

（２）地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を継承している若い世代の割合について

指標図８

伝統的な料理や作法を継承している若い世代の割合　　Ｒ７年度回答者：394 人



	受け継いでいる	受け継いでいない	わからない	無回答
Ｒ3	45.6	18.9	30.9	4.6
Ｒ4	41.2	18.2	35.9	4.8
Ｒ5	49.9	15.9	33.5	0.7
Ｒ6	50.2	17.3	30.7	1.7
Ｒ7	75.9	23.4	0.0	0.8

※Ｒ４、Ｒ６、Ｒ７年度については、小数点以下第２位を四捨五入しているため 100%にならない。

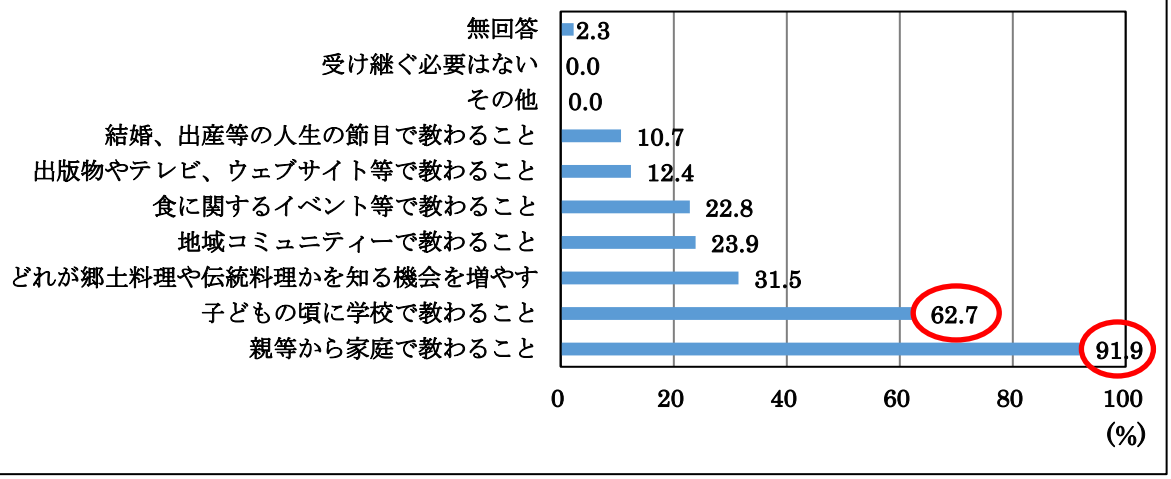
資料：７～８か月児教室参加者アンケート（健康増進課）

指標図８の令和７年度の「伝統的な料理や作法を継承している若い世代の割合」は、75.9%となっている。国の食育に関する意識調査に合わせて、設問の選択肢を「受け継いでいる」「受け継いでいない」の２択に変更したため、令和６年度の 50.2%から 25.7 ポイント増加している。

関連図８

伝統的な料理や作法を継承するために必要なこと
【子育て世代】

（複数回答）
回答者数：394 人



資料：令和７年度７～８か月児教室参加者アンケート（健康増進課）

指標図８の伝統的な料理や作法を継承するために必要なこととして、「親等から家庭で教わること」が 91.9%、「子どもの頃に学校で教わること」が 62.7%となっている。

【取組】

担当課	令和７年度の取組	令和８年度の取組
健康増進課	・広報誌や庁舎内放送、FM きりしまを通して、「６月の食育月間、毎月 19 日の食育の日」を市民へ周知 ・６月の食育月間、食育の日の周知のため、食生活改善推進員と協働で、コープかごしま国分店にて食育イベントの実施（令和７年６月 19 日来場者 70 人） ・霧島市健康福祉まつりで食生活改善推進員と協働で食育のブースを出展（令和８年２月１日 来場者 500 人）   ・令和７年度から出前講座の新規講座として、「鹿児島の郷土料理講座」を新設し、霧島市食生活改善推進員を派遣（２回 46 人） ・令和７年度からすこやか保健センターと連携して、毎月 19 日の食育の日に、時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信	・広報誌や庁舎内放送、FM きりしまを通して、「６月の食育月間、毎月 19 日の食育の日」を市民へ周知 ・６月の食育月間、食育の日の周知のため、食生活改善推進員と協働で、Ａコープ国分店にて食育イベントの実施（令和８年６月 19 日来場者 70 人） ・霧島市健康福祉まつりで食生活改善推進員と協働で食育のブースを出展（令和９年２月７日） ・出前講座の鹿児島の郷土料理講座を実施 ・母子保健課と連携して、毎月 19 日の食育の日に、時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信
農政畜産課	・小学校での霧島茶淹れ方教室の実施（23 校 932 名） ・和牛少年隊(牧之原）の活動への協力（３回 23 名） ・よこがわ牛援隊の活動への協力（１回 40 名）  	・小学校での霧島茶淹れ方教室の実施 ・和牛少年隊(牧之原）の活動への協力 ・よこがわ牛援隊の活動への協力
学校給食課 学校教育課	・食に関する指導について、栄養教諭の授業への参画を実施し、児童生徒に対し、食の大切さ、栄養素などについてより具体的に指導を行う	・食に関する指導について、栄養教諭の授業への参画を実施し、児童生徒に対し、食の大切さ、栄養素などについてより具体的に指導を行う
母子保健課	・離乳食教室、1.6 歳・３歳児健診、育児相談、出前講座等で、食の大切さや食事マナーなどの普及啓発 ・健康増進課と連携して毎月 19 日の食育の日に時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信	・離乳食教室、1.6 歳・３歳児健診、育児相談、出前講座等で、食の大切さや食事マナーなどの普及啓発 ・健康増進課と連携して毎月 19 日の食育の日に時短レシピや郷土料理レシピを SNS で配信

２．健康きりしま２１（第５次）にかかるアンケート内容について

「健康きりしま２１（第４次)」が令和９年度に計画最終年度を迎えるにあたり、今年度より、第４次計画の評価と次期計画策定のため､市民の健康状態や健康習慣に関する実態や意識について把握するアンケート調査を令和８年度に実施する。

アンケート調査について

（１）調査時期

令和９年１月～３月

（２）調査対象

前回調査時（令和３年度）と同様の対象者（児童生徒アンケートについては、国や県の指標も考慮した対象者）

① 成人（20 歳以上）アンケート

調査対象：20 歳以上の市民、1,300 人

② 妊娠中～産後（生後２か月～７か月児）アンケート

調査対象：生後２～７か月の母親、400 人

③ 未就学児（０～６歳児）の保護者アンケート

調査対象：０～６歳の保護者、1,400 人

④ 児童生徒（10～18 歳）アンケート

調査対象：10～18 歳の小学５年生、中学１年生、中学３年生、高校２年生、約 600 人

（３）調査方法

・対象者は無作為抽出とし、郵送による配布・回収予定

・児童生徒アンケートについては、タブレット端末での回答ができるよう学校教育課及び委託業者と調整予定

①成人(20 歳以上)アンケート(案)

栄養・食育について

問7　あなたは、食事に関して困っていることはありますか。あてはまる番号をすべて選び、〇で囲んでください。

1. 買い物に行くのが大変
2. 料理を作るのが大変
3. 栄養バランスのとれた食事をするのが難しい
4. 経済的に苦しい
5. 飲み込みにくい(むせる)
6. 噛みにくい
7. 食欲がわかない
8. その他(　　)
9. 特にない

資料 1 を読んで問8にお答えください。

〔資料 1〕
「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類(日本茶・コーヒー・紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしか取らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

問8　あなたは、朝食を食べていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. ほとんど毎日食べる(問9へ)
2. 週に4～5日食べる(問8－1へ)
3. 週に2～3日食べる(問8－1へ)
4. ほとんど食べない(問8－1へ)

問8－1　問8で「2」「3」「4」と答えた方にお尋ねします。朝食を食べない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、〇で囲んでください。

1. 食べる時間がないから
2. 食欲がないから
3. 食べる習慣がないから
4. 朝食の準備が面倒だから
5. 減量したいから
6. 節約したいから
7. その他(　　)

問8－2　問8で「2」「3」「4」と答えた方にお尋ねします。いつ頃から朝食を食べないことがあるようになりましたか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. 幼児期の頃から
2. 小学生の頃から
3. 中学生の頃から
4. 高校生の頃(15～18 歳程度)から
5. 高校を卒業した頃(18～20 歳程度)から
6. 20～29 歳から
7. 30～39 歳から
8. 40～49 歳から
9. 50～59 歳から
10. 60～69 歳から
11. 70 歳以上から
12. わからない

資料 2 を読んで問9にお答えください。

〔資料 2〕

「**主食**」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。



ごはん　おにぎり　パン　うどん

「**主菜**」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主としてたんぱく質や脂質の供給源となるものです。



焼き魚　肉じゃが　ハンバーグ　目玉焼き

「**副菜**」とは、野菜や海藻、きのこ類などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たすものです。



ほうれん草のおひたし　野菜サラダ　ひじきの煮物　野菜たっぷり等具だくさんのみそしる

問9　　あなたは主食・主菜・副菜がそろった食事を、1日に2回以上とる日が週に何日ありますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

1. ほとんど毎日（問 10 へ）　　2. 週に4～5日（問9－1へ）
3. 週に2～3日（問9－1へ）　　4. ほとんどない（問9－1へ）

問9－1　　問9で「2」「3」「4」と回答した方におたずねします。主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1. 時間がないから　　2. 節約したいから
3. 手間が煩わしいから　　4. 量が多くなるから
5. 外食が多いから　　6. そろえる必要性を感じないから
7. その他（　　）

問 10　　あなたはふだん生活習慣病予防や改善のために、ア～ケのことについて、どの程度実践していますか。それぞれあてはまる番号を1つ選んで、○で囲んでください。

	1　いつもしている	2　時々している	3　あまりしていない	4　ほとんどしていない
ア．適正体重になるようにしている	1	2	3	4
イ．食べ過ぎない	1	2	3	4
ウ．塩分をとりすぎない	1	2	3	4
エ．甘い物（糖分）をとりすぎない	1	2	3	4
オ．脂肪をとりすぎない	1	2	3	4
カ．お酒を飲み過ぎない（または飲まない）	1	2	3	4
キ．野菜をたくさん食べる	1	2	3	4
ク．食事はゆっくりとよくかんで食べる	1	2	3	4
ケ．牛乳・乳製品や小魚を食べる	1	2	3	4

問 11　　あなたは、家族(同居人も含む)と同居していますか。あてはまる番号を○で囲んでください。
1. はい(問 12 へ)　　2. いいえ(問 14 へ)

問 12　　あなたは朝食を家族(同居人も含む)と一緒に食べることはどのくらいありますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。
1. ほとんど毎日(問 13 へ)　　2. 週に4～5日(問 13 へ)
3. 週に2～3日(問 12－1へ)　　4. 週に1日程度(問 12－1へ)
5. ほとんどない(問 12－1へ)

問 12－1　問 12 で「3」「4」「5」と回答した方にお尋ねします。あなたが家族(同居人も含む)と一緒に朝食をとらない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。
1. 家族と生活リズムが異なる(食事の時間が合わない)ため
2. 友人や知人との共食や、職場や地域等における共食の機会が増えたため
3. 1人で食べたいため
4. 家族で別のものを食べているため
5. 朝食を食べないため
6. その他(具体的に:　　)

問 13　　あなたは夕食を家族(同居人も含む)と一緒に食べることはどのくらいありますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。
1. ほとんど毎日(問 14 へ)　　2. 週に4～5日(問 14 へ)
3. 週に2～3日(問 13－1へ)　　4. 週に1日程度(問 13－1へ)
5. ほとんどない(問 13－1へ)

問 13－1　問 13 で「3」「4」「5」と回答した方にお尋ねします。あなたが家族(同居人も含む)と一緒に夕食をとらない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。
1. 家族と生活リズムが異なる(食事の時間が合わない)ため
2. 友人や知人との共食や、職場や地域等における共食の機会が増えたため
3. 1人で食べたいため
4. 家族で別のものを食べているため
5. 夕食を食べないため
6. その他(具体的に:　　)

資料 3 を読んで問 14 にお答えください。

〔資料 3〕
「郷土料理や伝統料理」は、その地域に特有の料理や、年越しそばなど古くから受け継がれ伝えられている料理ですが、いわゆる「おふくろの味」など、その家庭で受け継がれてきた家庭料理も含まれます。
「食べ方・作法」は、「お碗を手に持つ」、「迷い箸をしない」、「音をたてない」など、日常の食事の際のマナーや、食事の際のあいさつである「いただきます」や「ごちそうさまでした」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現等も含まれます。

問 14　　あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。あてはまる番号を〇で囲んでください。

1. 受け継いでいる(問 14-1 へ)　　2. 受け継いでいない(問 15 へ)

問 14-1　あなたは郷土料理や伝統料理、食べ方・作法に関して、どのようなことを受け継いでいますか。あてはまる番号をすべて選び、〇で囲んでください。

1. 地域に特有の料理や古くから受け継がれ伝えられている料理
2. その家庭で受け継がれてきた家庭料理(1を除く)
3. 「お椀を手に持つ」、「迷い箸をしない」、「音をたてない」など、日常の食事の際のマナー
4. 「いただきます」「ごちそうさま」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現
5. 「一汁三菜」、「ご飯は左側に置く」、「魚の頭は左向き」など、日本食の伝統的な形式や、食器の使い方や配置などの作法
6. その他(具体的に:　　)

問 15　　あなたは食べ残しや賞味・消費期限切れで捨てる食品を減らす努力をしていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. いつもしている　　2. 時々している
3. あまりしていない　　4. まったくしていない

問 16　　あなたは地場産物を意識して選んでいますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. いつも選んでいる　　2. 時々選んでいる
3. あまり選んでいない　　4. まったく選んでいない

妊娠中～産後(生後2か月～7か月児)アンケート(案)

現在のあなたの食生活のことについてお伺いします。

資料 1 を読んで問 18 にお答えください。

〔資料 1〕
「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類(日本茶・コーヒー・紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしか取らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

問18　　あなたは朝食を食べていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. ほとんど毎日食べる(問 19 へ)
2. 週に4～5日食べる(問 18－1へ)
3. 週に2～3日食べる(問 18－1へ)
4. ほとんど食べない(問 18－1へ)

問 18－1　　問 18 で「2」「3」「4」と答えた方にお尋ねします。朝食を食べない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1. 食べる時間がないから
2. 食欲がないから
3. 食べる習慣がないから
4. 朝食の準備が面倒だから
5. 減量したいから
6. 節約したいから
7. その他（　　）

問 18－2　問 18 で「2」「3」「4」と答えた方にお尋ねします。いつ頃から朝食を食べないことがあるようになりましたか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

1. 幼児期の頃から
2. 小学生の頃から
3. 中学生の頃から
4. 高校生の頃（15～18 歳程度）から
5. 高校を卒業した頃（18～20 歳程度）から
6. 20～29 歳から
7. 30～39 歳から
8. 40 歳以降から
9. わからない

資料 2 を読んで問 19 にお答えください。

〔資料 2〕

「主食」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。



「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主としてたんぱく質や脂質の供給源となるものです。



「副菜」とは、野菜や海藻、きのこ類などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たすものです。



問19　　あなたは主食・主菜・副菜がそろった食事を、1日に2回以上摂ることが週に何日ありますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

1. ほとんど毎日（問 20 へ）
2. 週に4～5日（問 19－1へ）
3. 週に2～3日（問 19－1へ）
4. ほとんどない（問 19－1へ）

問 19－1　　問 19 で「2」「3」「4」と回答した方におたずねします。主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1. 時間がないから
2. 節約したいから
3. 手間が煩わしいから
4. 量が多くなるから
5. 外食が多いから
6. そろえる必要性を感じないから
7. その他（　　）

問 20　　あなたはふだん生活習慣病予防や改善のために、ア～ケのことについて、どの程度実践していますか。それぞれあてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

	1　いつもしている	2　時々している	3　あまりしていない	4　ほとんどしていない
ア．適正体重になるようにしている	1	2	3	4
イ．食べ過ぎない	1	2	3	4
ウ．塩分をとりすぎない	1	2	3	4
エ．甘い物(糖分)をとりすぎない	1	2	3	4
オ．脂肪をとりすぎない	1	2	3	4
カ．お酒を飲み過ぎない(または飲まない)	1	2	3	4
キ．野菜をたくさん食べる	1	2	3	4
ク．食事はゆっくりとよくかんで食べる	1	2	3	4
ケ．牛乳・乳製品や小魚を食べる	1	2	3	4

問 21　　あなたは栄養バランスなど正しい食生活に関する情報をどこから得ていますか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1．家族・親族　　2．友人・知人　　3．テレビ
4．新聞記事・雑誌・書籍　　5．店頭表示や店頭配布物
6．商品に書かれた説明やキャッチコピー
7．専門サイト・アプリ・YouTube 等
8．SNS(Instagram・X(旧 Twitter)・TikTok・LINE 等)
9．AI 検索(ChatGPT・Gemini 等)
10．保健センター(離乳食教室や乳幼児健診等で配布された資料等)
11．保育園・こども園・幼稚園等
12．病院・診療所・助産所
13．その他(　　)

資料 3 を読んで問 22 にお答えください。

〔資料 3〕
「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる人間を育てることです。

問 22　　お子さんに行いたいと思う食育は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1．栄養バランスの良い食事のとり方を教える
2．安心・安全な食選びの方法を教える
3．調理に関する知識や技法を教える
4．親子で料理を一緒に作る経験をする
5．食を通じたコミュニケーションを促す
6．日本や地域の食文化を教える
7．正しい食事マナーを教える
8．食に対する感謝の念を育てる
9．食に関する社会問題を伝える
10．正しい食習慣を教える

11. その他(　　)

問 23　あなたは食べ残しや賞味・消費期限切れで捨てる食品を減らす努力をしていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください

1. いつもしている　2. 時々している
3. あまりしていない　4. まったくしていない

問 24　あなたは地場産物を意識して選んでいますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください

1. いつも選んでいる　2. 時々選んでいる
3. あまり選んでいない　4. まったく選んでいない

未就学児(0～6歳)の保護者アンケート(案)

ここからは、1歳6か月以上のお子さんを持つ保護者にお伺いします。

～1歳6か月以上のお子さんについて～

問5　お子さんの、朝起きる時刻と夜寝る時刻は何時ですか。それぞれあてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

＜朝起きる時刻＞　1. 午前7時前　2. 午前7～8時　3. 午前8～9時
4. 午前9時～10時　5. 午前10時以降

＜夜寝る時刻＞　1. 午後8時前　2. 午後8～9時　3. 午後9～10時
4. 午後10時～11時　5. 午後11時～12時　6. 午前0時以降

問6　お子さんは朝食を食べていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. ほとんど毎日食べる
2. 週に4～5日食べる
3. 週に2～3日食べる
4. ほとんど食べない

問7　あなたが、お子さんの食事のことで困っていることは何ですか。あてはまる番号をすべて選び、〇で囲んでください。

1. 小食　2. 食べ過ぎる　3. 食べるのに時間がかかる
4. むら食い　5. 好き嫌いがある　6. 食べ散らかす
7. 食卓で座っていられない　8. 早食い、噛まない　9. 食べることに関心がない
10. アレルギー　11. 食事より甘いものを欲しがる
12. 特にない　13. その他(　　)

資料 1 を読んで問8にお答えください。

〔資料 1〕
「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる人間を育てることです。

問8　あなたが、お子さんに行いたいと思う食育は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、〇で囲んでください。

1. 栄養バランスの良い食事のとり方を教える
2. 安心・安全な食選びの方法を教える
3. 調理に関する知識や技法を教える
4. 親子で料理を一緒に作る経験をする
5. 食を通じたコミュニケーションを促す
6. 日本や地域の食文化を教える
7. 正しい食事マナーを教える
8. 食に対する感謝の念を育てる
9. 食に関する社会問題を伝える
10. 正しい食習慣を教える
11. その他(　　)

ここからは、アンケートを記入する方(保護者)についてお伺いします。

食生活について

資料 2 を読んで問9にお答えください。

〔資料 2〕
「朝食を食べる」とは、エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類(日本茶・コーヒー・紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしか取らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

問9　あなたは、朝食を食べていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. ほとんど毎日食べる(問 10 へ)
2. 週に4～5日食べる(問 9－1へ)
3. 週に2～3日食べる(問 9－1へ)
4. ほとんど食べない(問 9－1へ)

問9－1　問9で「2」「3」「4」と答えた方にお尋ねします。朝食を食べない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、〇で囲んでください。

1. 食べる時間がないから
2. 食欲がないから
3. 食べる習慣がないから
4. 朝食の準備が面倒だから
5. 減量したいから
6. 節約したいから
7. その他(　　)

問9－2　問9で「2」「3」「4」と答えた方にお尋ねします。いつ頃から朝食を食べないことがあるようになりましたか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. 幼児期の頃から
2. 小学生の頃から
3. 中学生の頃から
4. 高校生の頃(15～18 歳程度)から
5. 高校を卒業した頃(18～20 歳程度)から
6. 20～29 歳から
7. 30～39 歳から
8. 40 歳以降から
9. わからない

資料３を読んで問 10 にお答えください。

〔資料 3〕

「主食」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。



「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主としてたんぱく質や脂質の供給源となるものです。



「副菜」とは、野菜や海藻、きのこ類などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たすものです。



問 10　　あなたは主食・主菜・副菜がそろった食事を、1日に2回以上摂る日が週に何日ありますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

1. ほとんど毎日(6日か7日)食べる(問 11 へ)　　2. 週に4～5日(問 10-1 へ)
3. 週に2～3日(問 10-1 へ)　　4. ほとんどない(問 10-1 へ)

問 10－1　　問 10 で「2」「3」「4」と回答した方におたずねします。主食・主菜・副菜をそろえて食べることができない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1. 時間がないから　　2. 節約したいから
3. 手間が煩わしいから　　4. 量が多くなるから
5. 外食が多いから　　6. そろえる必要性を感じないから
7. その他(　　)

問 11　　あなたはふだん生活習慣病予防や改善のために、ア～ケのことについて、どの程度実践していますか。それぞれあてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

	1　いつもしている	2　時々している	3　あまりしていない	4　ほとんどしていない
ア. 適正体重になるようにしている	1	2	3	4
イ. 食べ過ぎない	1	2	3	4
ウ. 塩分をとりすぎない	1	2	3	4
エ. 甘い物(糖分)をとりすぎない	1	2	3	4
オ. 脂肪をとりすぎない	1	2	3	4
カ. お酒を飲み過ぎない(または飲まない)	1	2	3	4
キ. 野菜をたくさん食べる	1	2	3	4
ク. 食事はゆっくりとよくかんで食べる	1	2	3	4
ケ. 牛乳・乳製品や小魚を食べる	1	2	3	4

問 12　　あなたは栄養バランスなど正しい食生活に関する情報をどこから得ていますか。あてはまる番号をすべて選び、〇で囲んでください。

1. 家族・親族　　2. 友人・知人　　3. テレビ
4. 新聞記事・雑誌・書籍　　5. 店頭表示や店頭配布物
6. 商品に書かれた説明やキャッチコピー
7. 専門サイト・アプリ・YouTube 等
8. SNS（Instagram・X（旧 Twitter）・TikTok・LINE 等）
9. AI 検索（ChatGPT・Gemini 等）
10. 保健センター（離乳食教室や乳幼児健診等で配布された資料等）
11. 保育園・こども園・幼稚園等
12. 病院・診療所・助産所
13. その他（　　）

問 13　　あなたは食べ残しや賞味・消費期限切れで捨てる食品を減らす努力をしていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. いつもしている　　2. 時々している
3. あまりしていない　　4. まったくしていない

問 14　　あなたは地場産物を意識して選んでいますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1. いつも選んでいる　　2. 時々選んでいる
3. あまり選んでいない　　4. まったく選んでいない

児童生徒（10～18 歳）アンケート（案）

食生活について

問3　　あなたは、朝食を食べていますか。あてはまる番号を1つ選んで、〇で囲んでください

1. ほとんど毎日食べる
2. 週に4～5日食べる　→（問3－1へ）
3. 週に2～3日食べる
4. ほとんど食べない　→（問3－2へ）

問3－1　問 3 で「1」「2」「3」と答えた人にお聞きします。あなたは、どのような朝食を食べていますか。あてはまる番号をすべて選んで、〇で囲んでください。

1. ごはん（おにぎり）　　2. パン類（食パン、ロールパンなど）
3. 菓子パン類（甘いおやつのようなパン）　　4. めん類
5. シリアル（コーンフレークなど）　　6. 肉・加工品（ハム、ベーコンなど）
7. 魚介類（魚、貝類、魚卵など）　　8. 卵
9. 豆腐、納豆など　　10. 野菜類（サラダ、野菜炒めなど）
11. 牛乳・乳製品（チーズ、ヨーグルトなど）　　12. 果物

13．みそ汁・スープなどの汁物　　14．お菓子
15．ジュース類　　16．その他(　　)

問3－2　問3で「4」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んで、○で囲んでください。

1．食べる時間がないから　　2．食欲がないから
3．いつも食べないから　　4．朝食が用意されていないから
5．太りたくないから　　6．その他(　　)

問4　あなたの登校日の朝起きる時刻と夜寝る時刻は何時ですか。それぞれあてはまる番号を1つえらんで、○で囲んでください。

＜朝起きる時刻＞

1．6時以前　　2．6時30分ごろ
3．7時ごろ　　4．7時30分以降

＜夜寝る時刻＞

1．21時以前　　2．22時ごろ
3．23時ごろ　　4．24時以降

問5　あなたは朝食を誰と食べていますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

1．家族そろって食べる
2．おとなの家族の誰かと食べる　→（問6へ）
3．子どもだけで食べる
4．1人で食べる　→（問5－1へ）
5．その他(　　)

問5－1　問5で「4」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1．家族と生活リズムが異なる(食事の時間が合わない)ため
2．1人で食べたいため
3．家族で別のものを食べているため
4．朝食を食べないため
5．その他(　　)

問6　あなたは夕食を誰と食べていますか。あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

1．家族そろって食べる
2．おとなの家族の誰かと食べる　→（問7へ）
3．子どもだけで食べる
4．1人で食べる　→（問6－1へ）
5．その他(　　)

問6－1　問6で「4」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○で囲んでください。

1．家族と生活リズムが異なる(食事の時間が合わない)ため
2．1人で食べたいため

3．家族で別のものを食べているため
4．夕食を食べないため
5．その他(　　)

問7　あなたは、今の食生活をどう思いますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1．よい ⟶ 問８へ
2．あまりよくない
3．よくない
⟶（問 7－1へ）

問7－1　問7で「2」「3」と答えた人にお聞きします。その理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選んで、〇で囲んでください。

1．食べるものがかたよっている
2．朝食や夕食を食べないことが多い
3．よくかまないで食べている
4．食べ過ぎてしまう
5．おやつなどの間食が多い
6．食塩をとり過ぎている
7．野菜を食べない
8．牛乳・乳製品や小魚を食べない
9．夜遅くに食べている
10．食べる時間が決まっていない
11．その他(　　)

問８　あなたは食べ残しや賞味・消費期限切れで捨てる食品を減らす努力をしていますか。あてはまる番号を1つ選び、〇で囲んでください。

1．いつもしている
2．時々している
3．あまりしていない
4．まったくしていない